主な内容
2面 いじめ予防やいじめ発見のための取り組み
教育委員コラム Vol.2
3面 自由民権資料館企画展示情報
自由民権資料館・生涯学習センター・文学館まつり
4面 わがまち学校たんけん隊!

まちだの教育
2012年 9月11日
No.83
携帯電話用 QRコード
発行:町田市　編集:学校教育部 教育総務課　〒194-8520　町田市森野2−2−22
MACHIDA
TEL 042−722−3111　ホームページ http://www.city.machida.tokyo.jp

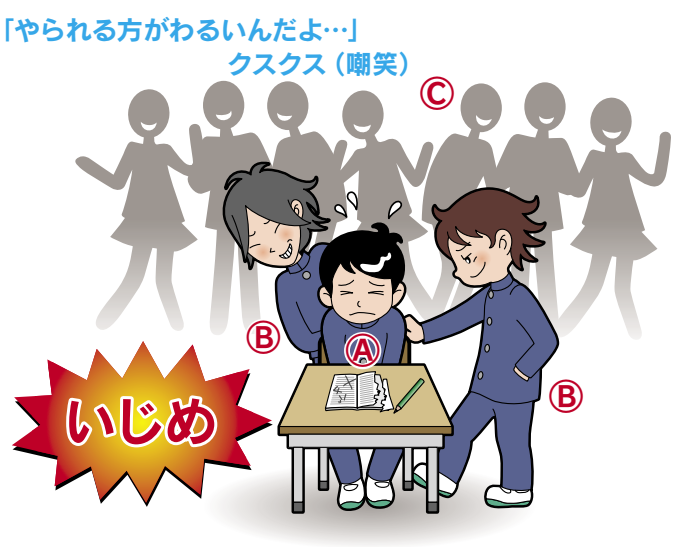
STOP! いじめ NO! いじめ

いじめは人権侵害です

今回の「まちだの教育」では、いじめ問題を取り上げます。仲間はずし、身体への攻撃、いやがることをする（させる）など･･･いじめは、人間の尊厳を傷つける重大な人権問題です。「いじめはどこの学校・学級にも起こり得ること」として、日頃から未然防止に努め、いじめを認知した場合には速やかに解決を図ることが必要です。

いじめが人として許されない行為であることを伝えるとともに、お子さんがいじめられていないか、またはいじめる側になっていないか、各ご家庭でも積極的にいじめ問題を話題にしていただければと思います。また地域でも、いじめが行われている場面を見たことがないか等を確認し、地域ぐるみでいじめを未然防止・早期発見できる環境をつくることが大切です。

「いじめ」の構造



「かわいそう…、でも…」
「こわい」

Ⓓ

「かかわりたくない」
「自分がやられたら…」

Ⓐ：いじめられている児童・生徒（主に一人）
Ⓑ：いじめている児童・生徒（複数の場合が多い）
Ⓒ：実際に手出しはしないが、見てはやし立てる児童・生徒
Ⓓ：「かかわりたくない」「仕返しがこわい」などの理由から、見て見ぬふりをしてしまっている児童・生徒

学校（教師）はもちろんのこと、ご家庭や地域の中でも、子どもたちからのサインをとらえていただきたいと思います。いじめられている子どもは、なかなか自分から助けを求めることができません。少しでも気付くことがあったら、学校や教育委員会までご連絡・ご相談下さい。

いじめ発見のポイント

- □ あいさつしても返さない。
- □ 笑顔がなく沈んでいる。
- □ ぼんやりとしていることが多い。
- □ 視線をそらし、合わそうとしない。
- □ わざとらしくはしゃいでいる。
- □ 表情がさえず、ふさぎこんでいる。
- □ まわりの様子を気にし、おどおどとしている。
- □ 感情の起伏が激しい。
- □ いつもひとりぼっちである。

いじめ等についての相談窓口

○いじめ110番（教育委員会指導課）	☎042-724-2867
○教育センター教育相談	☎042-792-6548
○東京都いじめ相談ホットライン	☎03-5800-8288
○東京都教育相談センター	☎03-5800-8008
○24時間いじめ相談ダイヤル	☎0570-0-78310

いじめ予防やいじめ発見のための取り組み

教育委員会では、2008年度から、小中一貫町田っ子カリキュラムの柱の一つとして規範教育を推進してきました。毎年5月に全小・中学校でいじめの未然防止のために町田市独自の授業を行っています。また、各小・中学校においても様々な取り組みにより、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に努めています。今後、小中一貫町田っ子カリキュラムを改訂し、より充実した取り組みにしていくとともに、「いじめ対応サポートチーム」の設置や「いじめ調査」の毎月実施、いじめ対応マニュアルの作成などの対策を進めていきます。

専門家による「いじめ対応サポートチーム」の設置

いじめの未然防止・早期解決に向け、９月に「いじめ対応サポートチーム」を教育委員会内に設置します。メンバーは、指導主事・スクールソーシャルワーカー・校長経験者・臨床心理士で構成されます。いじめ問題に学校と共に取り組み、児童・生徒、保護者への支援を行います。

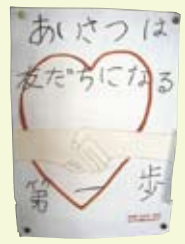
「いじめ調査」の毎月実施

今まで学期に１回実施していた調査を、毎月実施することで、児童・生徒の心の状況・変化をより詳細に把握します。調査内容はいじめの実態把握を始め、いじめにつながる可能性のある「からかい・いやがらせ」等の状況も把握し、いじめの未然防止・早期発見・早期解決を図ります。

いじめ対応マニュアルの作成と配布

町田市独自のマニュアルを作成し９月に全教員に配布します。内容には、いじめを発見してからの初期対応の流れ・いじめ発見のためのチェックポイント等を盛り込み、「いじめのない」「いじめを許さない」学校づくりを推進します。

あいさつ運動の取り組み



町田第一小学校では、全校であいさつ運動に取り組んでいます。１年生から６年生までが、「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」など、積極的にあいさつを交わします。また、あいさつ運動の標語を児童がつくり、校内に掲示します。

この標語ポスターには「あいさつは友だちになる第一歩」とあります。

子ども同士だけでなく、子どもと教職員が積極的にあいさつを交わすことで、子どもたちの様子もわかります。

校長先生「あのね箱」の活用

鶴間小学校では、「子どもたちにとって学校は安心できる場所でなくてはならない」との考えから、校長室前に『校長先生あのね箱』を設置しています。

つらいことや悲しいことだけでなく、楽しかったこと等、自由に書いて入れるポストです。

子どもたちは、安心して手紙を入れることができ、毎日様々な内容の手紙が入っています。

「いじめ問題対応研修」の実施

教育委員会では、夏季休業中を活用して「授業力・教育課題研修会」を実施しています。教育課題の一つとして、いじめなどの問題に対応する研修を実施しました。大学教授を講師に、いじめの解消に向けたカウンセリングの理論や、学校での実践に向けた取り組み方法を学びました。その他にも、副校長・初任者・人権教育担当等を対象に研修を行っています。

教育委員コラム vol.2

～人と関わることの大切さ～

髙橋（たかはし） 圭子（けいこ） 委員

私は２００８年７月に保護者の中から公募で教育委員に選ばれました。今日まで、町田の教育のために何が出来るのかを考えながら、様々な活動をしてきました。特に、「読み聞かせ」を用いた「大人のためのお話し会」や講演会などを通し、保護者の方々にエールを送る「子育て応援活動」が私の大切な仕事だと思っています。

私自身、三人の子どもの子育て中です。子育てでは多くの喜びや楽しさも味わいますが、同じくらい、悩みや苦しみもあります。親として、一人の人間として試されています。

子育ては学校では習いません。父となり母となった時、ぶっつけ本番で始まります。さらに現在は、核家族化、地域とのつながりの希薄化などにより、孤立した中で子育てをしている親も少なくなく、厳しい現状があります。

そのような状況だからこそ、親同士、保護者同士のつながりが必要だと思います。子どもを一人では育てないこと、保護者同士で一緒に助け合い、励ましあって育てることが重要です。

最近は、私たちの幼い頃には耳にしなかった「子どもへの虐待」「無差別殺人」「振り込め詐欺」「いじめ問題」などのニュースが毎日のように報道されています。子どもたちが世の中に希望を持ちにくくなっていると感じています。

しかし、子どもたちは、そのような環境の中でも、自分たちに関わってくれる大人に数多く出会うことで、日頃のニュース等で受けるマイナスの影響が打ち消され、「あんな大人になりたい」「大人になって良い世の中にしたい」という前向きな思いに変わることが出来ると思います。私たち大人は、積極的に温かく子どもに関わっていきたいものです。

最後になりましたが、最近の「いじめ問題」の報道には、私も大変心を痛めています。日頃から親子でコミュニケーションをよく取り、「人としていじめは絶対にやってはならない」ことを伝えるとともに、保護者として、大人として、子どもたちの日頃の様子を注意深く見守ることが必要です。子どもの心を守り、命を守るのは周りの大人の大きな責任だと思うのです。

教育委員会の動き

6月～8月

2012年6月から8月までの間に、定例会3回が開催されました。24件の議案を審議し、1件を協議し、24件の報告を受けました。以下にその主なものをお知らせします。

なお、教育委員会会議の開催状況や議題の内容、議事録等は、町田市ホームページでもご覧いただけます。

【議　案】

○2012年度町田市教育委員会の施策等の点検及び評価（2011年度分）について

○町田市立学校学校支援地域理事の任命について

【協議事項】

○町田市生涯学習審議会への諮問について

【報告事項】

○教育相談の土曜開設について

○町田市教育委員会版「柔道の安全指導の手引き」の配布について

○鶴川中学校の通学区域について

○全国大学コンソーシアム研究交流フォーラムの開催について

来て！見て！楽しんで！

生涯学習センターまつり

日　時　10月19日(金)・20日(土)・21日(日)
9：30～17：00

場　所　生涯学習センター
(原町田6-8-1町田センタービル6～8階)

問い合わせ　728-0071

昨年度まで「公民館まつり」として開催してきましたが、4月に生涯学習センターが設立されたのを機に、名称を変えて実施します。このまつりの主役は、生涯学習センターを主に利用し活動している市民サークル・団体の皆さん。ダンス、太鼓、楽器演奏、俳句、絵画など、日頃の成果を披露します。

文学館まつり

日　時　10月28日（日）9：30～16：00

場　所　町田市民文学館ことばらんど
(原町田4-16-17)

問い合わせ　739-3420

気軽に手ぶらで参加できるイベント盛りだくさん！
新たな世界をのぞき見してみませんか…

********** 催　事 **********

オープニング　和太鼓演奏

午前の部　書道教室
紙芝居

午後の部　落語、朗読
折り紙教室

終日　文学フリーマーケット町田三味線ワークショップ
笠着連句・俳句コンテスト
街づくりの会パネル展示
生け花、模擬店　等

★同時開催「道尾秀介」展（2階展示室 ※無料）
[共催] 町田市民文学館・文学館通り商店会・原町田四丁目第二町会・原町田四丁目第二地区街づくりの会

自由民権資料館企画展情報

▲天野佐一郎の肖像画
(天野智氏蔵)

「あるく郷土史家、天野佐一郎
～一歩の出遊、猶楽しむべし～」展

10月6日(土)～11月25(日)
9：00～16：30

※休館日：月曜日(月曜日が祝日・休日の場合は翌日)
特別休館：9月30日(日)～10月5日(金)

南多摩郡図師村（現町田市図師町）に生まれた郷土史家、天野佐一郎をご存知ですか。

若き頃には、同郷の自由民権家石阪昌孝にあこがれ、その後は教員として多摩各地の学校を転任、さらには歩く郷土史家として、多摩全域に手跡と足跡を残した天野佐一郎の、人と仕事に光をあてます。

●第1回　11月11日(日)　14：00～16：00
演題　「小学校校長としての天野佐一郎
―日露戦争期の銃後活動を中心に―」
講師　河合　敦氏（早稲田大学教育学部非常勤講師）

●第2回　11月23日(祝)　14：00～16：00
演題　「郷土史研究へのまなざし　―天野佐一郎の軌跡をたどる―」
講師　保坂　一房氏（たましん地域文化財団歴史資料室室長）

自由民権資料館まつり

日　時　11月3日（祝）
10：00～16：00

場　所　自由民権資料館
(野津田町897)

問い合わせ　734-4508

今年も資料館や町田の歴史について少しでも知っていただければと「資料館まつり」を開催します。

当日は企画展の他にも、たくさんのイベントを企画中です。ぜひ、資料館に足をお運び下さい。詳細は広報等でお知らせします。

町田市歴史の一コマ

「天野佐一郎の手跡・足跡をたどる」

「目的なき門外一歩の出遊、猶楽しむべし、況んや一丘一水も何等かの歴史を語り、到処史跡ならざるはなきに於いてをや」

1922（大正9）年発足の八王子史談会の会誌『多麻』に、天野佐一郎がよせた巻頭の一節です。〝あるく郷土史家〟の面目躍如、現代のフィールドワーカーの心意気にも通じる一文ではないでしょうか。

その天野が晩年、各地を歩くことで培った交友や、たくさんの見聞を書き記した一冊の漢詩集『況堂詩鈔』を編んでいます。1959（昭和34）年、天野が82歳のことでした。天野がこの世を去ったのはその翌年のことです。『況堂詩鈔』編集に協力し、また、その完成をともに喜びあった友人たちによる記念碑「況堂翁詩碑」が、図師町の天野の生家に残っています。

▲況堂詩鈔

▲況堂翁詩碑

連載

町田市の文化財をご存知ですか

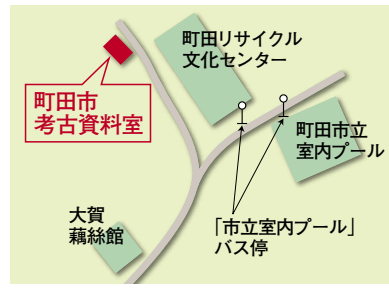
第8回　なすな原遺跡の透かし彫り縄文耳飾り

▲透かし彫り耳飾

これらの耳飾りは、今からおよそ2800年前（縄文時代晩期）の素焼きの装身具です。現在、鉄道の車両基地になっている南成瀬8丁目のなすな原遺跡から1978～80年の発掘調査で出土しました。

直径約4㎝、幅約2㎝、重さ11～15g、滑車形の片側に透かし彫りを施した装飾文様は「縄文工芸の極致」ともいわれるほど、精密で均整の取れた造形で、鮮やかな赤色顔料が塗られたものもあります。装飾以外は極力薄くして軽量にした実用品で、耳たぶに穴を開けてはめ込む特大のピアス式耳飾りです。同一デザインのものが殆んどないところも大きな特徴です。下記施設の展示コーナーでご覧いただけます。

●町田市考古資料室
所　在：下小山田町4016
開室日：第2・4土・日曜・祝日
10：00～16：00
案　内：町田バスセンターからバスで
市立室内プール下車、徒歩10分
電　話：797-9661



町田第一小学校の教育

～来年度、開校１４０周年を迎えます！～

本校は、小田急線町田駅からほど近いにぎやかな街中にあり、地域に根ざした伝統ある小学校です。地元の温かい人情につつまれて子どもたちは伸び伸びと成長しています。

昨年度と今年度は、教育委員会の研究推進校の指定を受け、「自ら育む健やかな体　－進んで運動する児童の育成－」を研究テーマに、「体育科」の研究に取り組んでいます。10 月 12 日（金）に授業公開と研究発表会を予定しています。

▲校内研究授業の様子

本校では、毎年多彩なゲストを学校にお招きし、体験や公演などを通して豊かな心を育てる取り組みを行っています。

▲岡田知之パーカッション合奏団 with小林和子

昨年度は、10 月にシドニーオリンピック競泳銀メダリストの中村真衣さんをお迎えして、あいさつ・ふれあいチャレンジプロジェクト事業を行いました。また 12 月には、日本を代表するパーカッショニスト岡田知之さんとその合奏団のみなさんをお迎えして、迫力あるパーカッション演奏を楽しみました。

今年度は、一学期からプロの演劇集団『双数姉妹』の皆さんに来ていただき、秋の学芸会をめざして発声や体ほぐしなどの演劇の基礎をレッスンしてもらっています。また、二学期の後半には、日本画壇を代表する大津英敏画伯をお迎えし、パステル画を共同で制作する活動を予定しています。

▲プロの演劇集団「双数姉妹」とのワークショップの様子

日常の授業にも、多くの地域の方をゲストティーチャーとしてお招きしたり、近隣の大学からの学生ボランティアも多数活動したり、子どもたちの学びを助けていただいています。

南第一小学校の教育

～輝く子どもたちの笑顔～

本校は、来年度、開校 140 周年を迎えます。「開(かいもう)舎」の名前で創立されて以来、その名称は何度か変遷を繰り返したものの、学校の場所は変わることなく、この地域の子どもたちを育んできました。その歴史の象徴が「大王松」と「大けやき」です。この大木は、いったい何人の子どもの成長を見届けてきたのでしょうか。

▲大けやき

本校の特色としては、学校と PTA、地域が一体となって行われる「夏休みワクワクスクール」があげられます。夏休みの一日、教職員や地域の皆さんが設定する様々な講座、スポーツ、音楽、実験、料理 ･･･ 子どもたちは、思い思いのコーナーに参加しながら、最高の笑顔を見せてくれます。

▲異学年交流

また、異学年交流活動に取り組み、優しさ、思いやり、リーダーシップを育てています。通常の学級、学年活動では見られない子どもたちの良さが見えてくる活動でもあります。

今年度からは、小中一貫町田っ子カリキュラム「食育」の実践として、年３回、「お弁当デー」を始めました。学年に応じて、保護者と子どもが一緒にお弁当を作り、学校に持ち寄ります。「お弁当デー」の日には、学校のあちらこちらで、楽しそうにお弁当を開く様子が見られます。

その他、長年続けられている、読書活動。図書指導員、図書ボランティアの皆さんがすてきな図書館を整備してくださっています。「おはようブックス」は、保護者の方が子どもたちに本の読み聞かせをしてくださる時間です。子どもたちの心が癒やされる朝のひとときです。

▲お弁当デー

南第一小学校は、今も、保護者、地域の皆さんに支えられ、子どもたちの笑顔が輝く学校です。

わがまち学校たんけん隊！

小山田小学校の教育

～自然や地域を活用し、地域の方や子ども同士の学びの学校～

本校は、緑に囲まれ、鳥のさえずりが聞かれる自然豊かな学校です。今年の春も校舎にはツバメが巣作りをし、裏の里山から竹の子がたくさん採れました。校庭には、芝生が青々と育ち、休み時間には裸足になって遊ぶ姿も見られます。子どもたちはきちんとした挨拶ができ、素直で元気いっぱいです。

▲60周年航空写真

本校は創立 60 周年を迎え、６月 16 日に記念式典が行われました。前日の記念集会や式典で６年生が、４月から練習に練習を重ねた「sing,sing,sing」の合奏曲を全員が心を一つに演奏し、聴く人たちに感動を与えました。また、昨年の６年生（今の中学１年生）が作った小山田小を凝縮した詩を、集会では全校で、式典では６年生が群読しました。これも聞く人を魅了するもので、会場内のお客様の目頭を熱くするものでした。

▲芝生でのGボール

また、「お互いを大切にする児童を育てる指導法の工夫」〈芝生を生かした活動を通して〉をテーマに研究をし、６月には、６年生と２年生が一緒にGボールを使った体育の学習に取り組みました。６年生がいろいろな動きに挑戦し、２年生がその動きを真似ます。６年生のサポートを受けながら、２年生はできる喜びを味わうことができました。６年生は下級生から慕われ、憧れられるよいお手本となっています。

さらに、裏にある里山の自然や地域を活用した学習を取り入れています。青少年健全育成地区委員会の方に協力をいただいての稲作やサツマイモの栽培。森林インストラクターの協力を頂いての里山体験。「ぬくもりの園」の高齢者の方との交流会。地域の農家の方にトマトの苗の植え方を教わり、トマトが育つまでの過程や苦労や農家の方の気持ちを学ぶ、等々。ボランティアコーディネーターの尽力があり、自然や地域や地域の方々から心に残る学びが展開されています。

▲農業委員の方と田植え

鶴川中学校の教育

～斬新でモダンな伝統校～

本校は、1947 年の新制中学校スタートとともに開校をした、町田市内でも最も伝統がある中学校の一つです。以前は、現在の「子どもセンターつるっこ」の位置（大蔵町）にありましたが、2002 年に現在の小野路町に移転しました。

▲鶴川中学校 校舎外観

現校地への移転の際、新校舎には斬新なデザインが用いられ、上空から見ると円を４分の１にしたような形が採用され、曲線が多用されています。また、校舎内部には天然木の建具が多く用いられ、木の温もりによる温かい雰囲気になっています。さらに、温水プールや免震構造の体育館など先進的な設備もあり、とても充実した施設になりました。

▲理科メディアセンター

この校舎の最大の特徴は「教科教室型」であることです。各クラスには「ホームベース」と呼ばれるホームルームがありますが、「ホームベース」で授業を受けることはなく、授業の際には各教科エリアに移動をして学習するシステムとなります。各教科ゾーンには「メディアセンター」と呼ばれるスペースがあり、教科の特性を生かした展示等の充実を目指しています。また、学校全体に芸術作品を展示する「鶴川中ミュージアム化計画」を推進しており、教育環境の整備に力を入れています。

このように、鶴川中学校を一言で言うと「斬新でモダンな校舎を手に入れた伝統校」と言えます。これからの鶴川中学校は、地域の皆さまとともに伝統を大切にし、人と人のつながりを大切にし、その上で今まで以上に新たなことに積極的にチャレンジする学校を目指していきます。

▲鶴川中ミュージアム　作品展示